



2019-2020年度

RI会長

マーク・ダニエル・マローニー

RIテーマ

ROTARY CONNECTS THE WORLD

国際ロータリー第2830地区

# 八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 沼田 廣 会長 ● 山内一晃 幹事 ● 佐々木悦郎 SAA ● 小金平育男

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6  
八戸プラザホテル内

TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<http://www.8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30開会

10月 経済と地域社会の発展月間／米山月間

vol.15

第2381回例会

2019.10.15

司会：吉田悦子副SAA

- ・RIテーマ
- 点鐘
- ・ロータリーソング
- ・クラブソング
- ・四つのテスト

## ゲストの紹介

米山奨学生 隆芳（りゅうほう）さん  
交換留学生 レベッカ・ニックスさん

## 誕生日祝い



櫻井研司会員



大入武志会員

## 会長要件

山内一晃会長



まずは台風19号の被害を受けたという話を聞いていないでしょうか？無かったようでよかったです。この週末は台風が二つあったと思います。悪い方は19号、良い方はラグビーじゃないでしょうか。世界的に台風の目になったのではないかと思います。

今月は世界ポリオデーが10月24日にあります。10月は経済と地域社会の発展月間となっております。これに関してですが10月から消費税増税になりました。私が意識したのが、呑む前にいつもコンビニでドリンクを買うんですが、店員に店内で飲むか聞かれ、袋づめのことだと思って「飲む」と答えて、750円しなかったのが750円で足りなかったという、ボランティア精神で2%払ってきました。

今月は米山月間です。今日は米山奨学生の方に卓話をお願いしています。米山月間のときぐらには「ハイライト米山」という会報がありますので読んでみましょう。地区のホームページに毎月載っています。少しご紹介します。

米山梅吉記念館が50周年をむかえ、式典が9月14日にあったそうです。9月までの米山の寄付は昨年と比べて1.5%増、約570万円の増加だそうです。だいたい月1千万くらい寄付があるそうです。伝統衣装で日中交流という、7月7日、日本と中国の伝統衣装のファッションショーをやったそうです。このイベントを企画したのが米山学友の田中さんという方で、田中さんが所属するクラブの名前が東京米山友愛RCでビックリしました。初めて知りました。ミャンマーの米山学友会で、元国際ロータリー会長の田中作次氏からの寄付で「田中作次奨学金」を設立して、ミャンマーと交流しているという記事がありました。

ご興味があったら読んでみてください。

2830地区のホームページにガバナーエレクト紹介で源新会員が載っていました。

ガバナー月信から気になったのが出席率です。8月の出席率が南グループで一番悪かったということで、皆さん頑張って出席して頂きたいと思います。

## 幹事報告

佐々木悦郎幹事



◎皆様からお預かりした九州北部豪雨災害支援金を無事に振り込みました。

◎台風15号の千葉県災害支援金を回覧していますのでご協力お願いします。

◎アクトの翼の募集

令和2年1月2日出発

◎クラブ拡大会員増強セミナーのご案内

12月8日 ホテル青森

◎次週10月22日は休会です。



八戸北RC

大入武志会員：誕生日ありがとうございます。  
ます。

櫻井研司会員：誕生日お祝いありがとうございます。  
ます。73歳です。

米山記念奨学金

千葉清彦会員：

源新育子会員：

澤口忠彦会員：

平野榮子会員：リュウホウさん、よろしくお願  
いします。

平野 薫会員：隆芳（りゅうほう）さん、今日  
は米山外部卓話、よろしくお願ひします。

大沼 衛会員：

ポリオ・プラス

奥寺良之会員：

大入武志会員：

小野晶子会員：



います。

趣味は水泳とジョギングです。自分で決めた目標  
をクリアすることで達成感を感じます。前から続け  
てきたので今でもストレス発散法の一つになってい  
ます。将来的に看護師の仕事に就きたいので、仕事  
では体が資本なので、これからも運動を続けていき  
たいと思っています。今も週に2、3回ぐらいジム  
に通っています。

家族は父母、弟もいます。弟は弘前学院大学の2  
年生です。私は今、看護学専攻の4年生です。実習  
とか来年の春に卒業なので卒業研究を中心として取  
り組んでいます。

留学先としてなぜ日本を選んだかという、まず、  
高校を卒業した年齢で海外への、自分が何も知らな  
い世界に興味を持っていました。日本は距離的にも  
文化的にも中国と近いものがあって、留学先として  
最適と考えました。二つ目は、自分が子どもの頃は  
体が弱くて入退院の生活をして看護師さんにも  
お世話になっていました。痛みにすごく敏感な私に  
も、気楽に治療できるようにぬいぐるみとかで気を  
紛らわせてくれて、看護師に対する印象が強かった  
です。だから自分も看護師になって苦しんでいる患  
者さんを笑顔にしたいと思いました。中国の看護師  
は注射や薬の投与などが主な仕事で、トイレに付き  
添ったり、体を拭いたり寝返りをさせたりというこ  
とは家族が泊まり込んで行わなければならないのが  
現状です。だから知識や技術があってやっているの  
ではないので、日本の看護師さんのように相手を思  
いやる気持ち、豊かな人間性、幅広い専門的な知識、  
熟練した技術などを合わせ持って、患者さんやその  
ご家族に安心と安全を与えられる、実践力のある看  
護師を目指して日本への留学を決意しました。

大学に入って最初の頃は、日本語があまり話せな  
いので緊張して、クラスメイトとの交流も殆どなく  
て、段々、グループワークなどを通してクラスメ  
イトとの交流も多くなりました。交流を通して自分が  
気づいてなかったこととか、自分と違う考え方とか  
発想を知る機会になりました。クラスメイト達は中  
国に行ったことがないので中国のことについて食文

出席報告

本日の出席率	71.05%
前々回の修正出席率	67.57%

米山記念奨学生卓話



弘前大学医学部保健学科 4年  
隆 芳さん

皆さんこんにちは。弘前西RC  
にお世話になっております。

今日はこのような機会を頂き本  
当に光栄だと思っています。どうぞよろしくお願ひ  
致します。今日の卓話のテーマは自分が日本での留  
学生活から色んなものが得られたのでその一部をお  
話したいと思います。

私の出身地は湖南省、邵陽県という所でけっこう  
南の方です。湖が多くて中国の南の方なので湖南と  
呼ばれるようになりました。湖南料理の特徴は辛さ  
です。中国で一番辛い料理と言われています。日本  
ではあまり知られていません。四川料理は唐辛子と  
山椒を効かせた舌が痺れるような辛さですが、湖南  
料理の辛さはひと味違います。見た目も真っ赤で  
けっこう辛いです。自分も子供の頃から辛いものを  
食べていたので辛いものが大好きです。今でも辛い  
ものを食べないと元気が出ない感じで朝から食べて

化とか色々興味を持って私に聞いてきました。その代わりにクラスメイト達からは日本の習慣とか食文化について色々教えてもらいました。こうやってクラスメイトと交流してみると、彼らも私と同じ趣味を持っていたり、同じ悩みを持っていたり、色々共通点も多く、これまで遠い存在だと思っていた日本もいっきに身近に感じました。

大学では色々専門科目を履修してある程度の専門知識を備えています。自分にとって大学で一番学んだことは、患者さんの病気にそったケアの大切さです。患者さんに看護ケアを提供するとき色々迷うこともあり、同じ疾患、年齢の人でも今まで生活してきた違いによって本人の望みが変わってくるので、個別性のある看護ケアを提供できるように、まず相手のことを知るからです。実習では相手を理解することは難しく、なかなか話してくれないとか、心を開いてくれないとか、入院患者と信頼関係を築くのは難しいと感じました。看護師も一人の人間なので相手を100%理解することは難しく、出来ないということも事前に知っておく必要があり、相手を尊重、尊敬する姿勢を持ち、自分も人生経験や人生観で相手を決めつけないことが重要であると考えました。自分の限界を認めた上で理解したいと思う謙虚さは相手を理解する為に必要なものだと学びました。

普段の実習では弘前大学医学部付属病院にお世話になっており、実際に実習を通して病院の雰囲気も感じる事が出来ました。素晴らしい先輩看護師が沢山いることを実際の実習でも感じました。看護師さんの仕事は医師の診療の補助となっていますが、すべて医師が言うままやるのではなく、資格を持って働いているので自分なりの判断力も不可欠だと感じました。実習でステキな先輩看護師と出会って雰囲気も気に入って、そこの看護師職員の試験に応募しました。皆さんのご支援のお陰で学業に専念することができ、内定を貰うことができました。本当に

心から感謝申し上げます。

来年の春に卒業なので卒業研究をしています。今は在日外国人の増加にともない医療機関に於ける外国人患者が年々増えているため、医療施設では看護師が外国人に接する機会も増えることを考えて、今、弘前大学に在籍している留学生を対象にアンケートをとりました。そこから収集したデータを分析した結果、三つの結論が得られました。

一つ目は外国人医療において受ける側、提供する側ともに言語が大きな問題になっています。とくに最近では、都市部や主要な観光拠点以外でも在日外国人留学生や在日外国人、外国人旅行者の数も増えてきていることから、これまで外国人患者の受診が無かった地域でも、外国人の受診が珍しくない状況になっています。そのため日本の医療現場における多言語での対応、特に英語による会話の充実化をはかるとともに、外国人患者ももっと安心して治療できる環境を整備していく必要があると考えます。

また二つ目は、在日外国人留学生はこれまでの受診行動の中で、自分自身の文化の背景が注目されていないことを実感しており、不安を抱えたまま日本の医療機関の受診行動をとっていたことが明らかとなりました。医療文化、習慣の壁をこえるためには、日本の医療従事者と外国人患者、お互いにその国の医療制度とか医療現状について学習していく必要があると感じました。

三つ目は、在日外国人留学生にとって医療現場では言葉よりも伝える気持ちの方が求められる人が少なくないということが明らかになりました。そのため、日本の医療従事者は外国人患者との言葉が通じる語学力を持っているかに捕らわれず、外国人患者としっかり向き合い外国人患者をケアしていくことが非常に重要です。患者さんを理解しようとする事が看護ケアのすべてだと考えています。

日本に来て驚いたことです。まずはバスや電車の中で居眠りする人が多いことです。公共の場所でも



堂々と眠ることは奇妙な光景だと思っています。中国では幼い頃から、バスや電車の中で寝てはいけないと教えられました。理由は、寝ている間に鞆とか貴重品が盗まれる可能性があるのも、また、隣や向いに座っている人に迷惑をかけることもあるので、マナー的にも公共の場では居眠りするとはよくありません。日本では多くの人が電車で眠り、たまに隣の人の肩にもたれかかって眠っている姿を見かけたり、降りる駅の前に突然動き出し探す光景を見て驚きました。

二つ目は、安いのに先進的なカプセルホテルがあることです。日本は世界的にも物価が高い国なので都市部で少しでも安く泊まろうと検索すると、必ずといっていいほどカプセルホテルが出てきます。狭い空間なのに一つ一つのスペースにドアが有りプライベートも守られていて、テレビとかカウンターとかパジャマまで用意しているのはすごいなと思いました。最近では女性用のカプセルホテルも増えており、予算を抑えながら快適に宿泊できると外国人観光客にも好評です。

あとは、皆マスクを愛用していることです。日本では風邪を引いて出かけるときマスクをするのはマナーですが、そうでないときもマスクをしている人が多いと感じました。中国ではマスク文化はありません。マスクをする人は医療従事者というイメージがあって、中国では生涯一度もマスクをつけたことが無い人が98%以上います。北京だと空気の関係でマスクしている人もいるけど、日本は空気もきれいでそんなに汚染されていないにも関わらずマスクを日常的につけることに驚きました。

あとは性格の面でも違いを感じています。日本人はなかなかNOとは言わない人が意外に多いです。その代わりに「けど」とか「でも」とか使ってフォローしたり、遠回しに断ったりしています。確かに優しいというところもあるんですが、話が煩わしくて、自分が混乱したことがありました。

あとは食事の仕方と小皿の食文化です。日本では当たり前ですがラーメン、そば、味噌汁など音を立てて食べる文化があります。中国では失礼な食べ方で、私にとっては珍しい食べ方だと思っていました。料理も小皿に分かれていて、中華料理では大皿で皆でシェアして食べる文化で、大皿で食べる文化の国が多い中で、日本のように小皿で一人分が決められているのが新鮮に感じました。

あとはゴミの処理方法です。日本では道路にゴミ箱がなくても町並みがきれいです。ゴミの分別システムが発達していると思います。ゴミの種類によって収集する日も違うので、指定されたゴミ以外は自宅に保管することになります。分別されるので効率



的にゴミが集められる、だから町並みがきれいなのはゴミの収集が徹底されているからだと思っています。

以上のように同じアジアの国でも日本には違うことがいっぱいあると感じました。日常生活の中で色々な違いを発見していくことは面白いです。今後、勉強するとともに色々な知識を磨いて、日本人の行動の仕方や考え方が出来るように頑張っていきたいと思っています。

米山奨学生になって感じたことです。初めて例会に出席するとき、社会的地位のある方が多くいらっしゃるの、偉い方とうまく交流できるか不安でした。毎回、例会とかイベントとか家族の集まりとかあって出席するときもロータリアンの皆さんは温かい笑顔で迎えてくれて、大家族の一員として受け入れてくれて、異国で生活している私に家族の温かさを感じさせてくれました。本当に有り難い気持ちでいっぱいでした。ロータリーは金銭面だけでなく精神的な面でも大きな支えになったと感じました。

また多くのロータリアンと出会って、色々な分野の方とコミュニケーションをとり、私にとって貴重な情報を得ることができました。視野も拡大することが出来ました。コミュニケーション能力の向上も自分自身にとって最も成長した点だと思っています。卓話は国際理解と文化交流のための発展でとても有意義な活動だと思っています。毎月の卓話の練習を通して、より深く学んでいくことを心掛けるようになりました。今後の卒業研究の発表や社会人になってからも仕事に生かそうと思っています。

臨時実習、就職活動、卒業研究など忙しい時期に米山奨学金のお陰で学業に専念することが出来ました。米山奨学生になれたことを誇りに思って、来年2月の看護師国家試験に合格出来るようにこれからもっと頑張っていきたいと思っています。

ご静聴頂きありがとうございました。

点鐘

(誤字脱字がございましたらご容赦ください)